

要 望 書

霞ヶ浦地区北埠頭国際物流ターミナル
の予算確保・計画的な事業推進について



四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル完成パース図

令和4年8月26日

四日市港霞ヶ浦地区北埠頭の整備を進める会

平素は、四日市港の整備推進に関し、特段のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

令和３年度に新規事業化された「四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業」におきましては、令和４年１月に早速工事に着手いただくなど、事業推進に多大なご尽力を賜り、誠にありがとうございます。

近年、四日市港の背後地域では、新名神高速道路が開通し、令和８年度には東海環状自動車道の全線開通が予定されるなど、高速道路ネットワークの整備が順調に進められています。こうした道路整備とともに四日市港の利用優位圏はますます拡大し、周辺地域には新たな企業立地も進んでいます。また、令和５年度に国道２３号中勢バイパスの全線開通、令和６年度には国道１号北勢バイパスの延伸が予定されるなど、港周辺の幹線道路の整備も着実に進められており、物流効率の向上や更なる貨物需要の増大が見込まれています。

こうした中、東南アジア航路をはじめとするコンテナ船の大型化への対応や完成自動車の輸出、バイオマス発電燃料等のバルク貨物の受入れ増加に対し、港湾機能の強化を求める声が高まっています。また、南海トラフ地震発生の可能性が高まる中、大規模災害時にも物流機能が維持される耐震強化岸壁の早急な整備も求められています。

今後も四日市港が背後圏産業の競争力強化による発展を支え、地域の暮らしを守るため、霞ヶ浦地区のコンテナ貨物機能の集約による物流効率化及び災害対応力の強化は必要不可欠です。

つきましては、かかる実情をご賢察のうえ、港湾整備予算の規模拡大を図るとともに、下記の事項について、特段のご高配を賜わりますようお願い申し上げます。

記

- 四日市港のコンテナ貨物取扱量の増加や船舶の大型化、災害対応力の強化に対応するため、霞ヶ浦地区北埠頭国際物流ターミナルの整備に必要な予算を確保し、計画的な事業推進を図ること。

四日市港霞ヶ浦地区北埠頭の整備を進める会 会長 種橋 潤治

四日市港の課題

1) コンテナ貨物の増加や船舶の大型化に対応した港湾機能の不足

東南アジア航路におけるコンテナ貨物の増加が見込まれ、船舶の大型化が進展している中、必要水深を満たす岸壁が不足しており、航路サービスの充実が図れない。

2) 災害時における物流機能の確保

コンテナターミナルの耐震強化岸壁が未整備であるため、南海トラフ地震等大規模災害が発生した際には、港湾物流機能が停止し、背後圏産業や経済活動に甚大な影響を及ぼす。

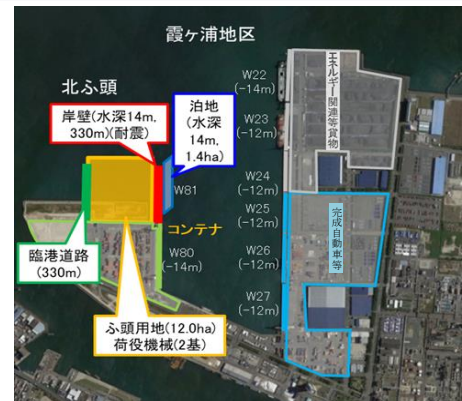
3) 完成自動車・エネルギー貨物等の取扱機能の強化

自動車メーカーの工場再編による生産台数の増加や輸送拠点機能の拡充、コンビナート企業の原材料の輸入増加やバイオマス発電燃料等、新たなエネルギー関連等貨物の輸入増加に対応したバースやヤードが不足している。

霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業

【事業概要】

- 整備施設：岸壁（水深 14m）（耐震）、
泊地（水深 14m）、臨港道路、
ふ頭用地、荷役機械
- 事業期間：令和3年度～令和10年度
令和8年度暫定供用（予定）
- 総事業費：324 億円（うち港湾整備事業費 189 億円）



【工事の状況】 令和4年1月着工



【着工式典】 令和4年5月22日開催



完成パースパネル除幕セレモニーの様子

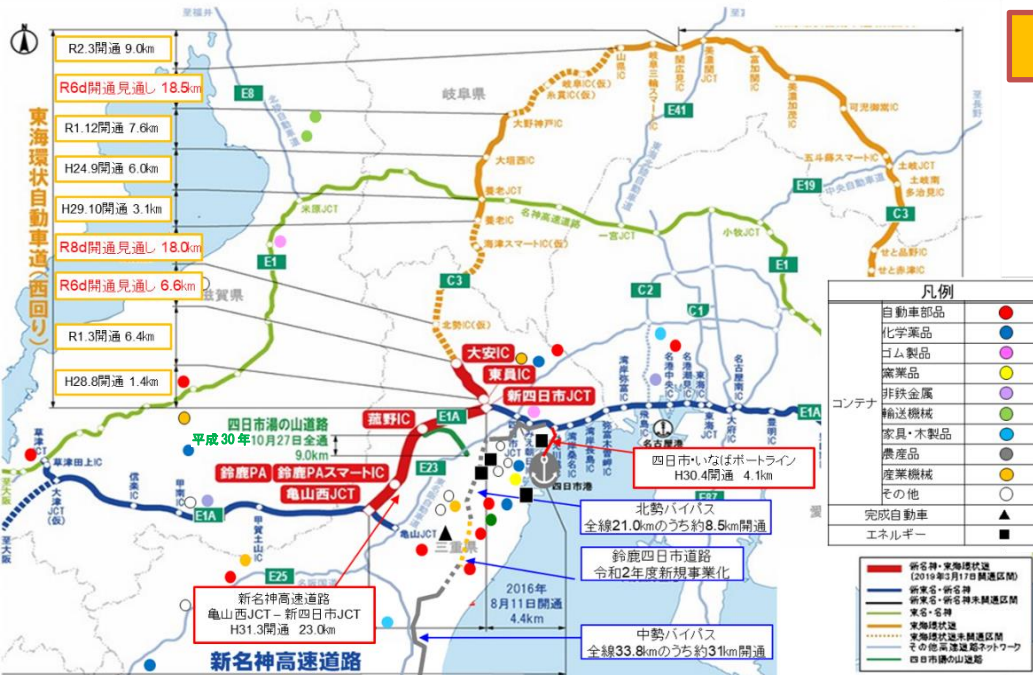
ターミナル整備事業に必要な予算確保・計画的な事業推進を！

整備効果

- 背後圏企業の新規立地・投資の促進
- 大規模災害における社会・経済活動の維持
- 自動車関連産業をはじめとする幅広い産業の国際競争力の向上

今後の展開

●ますます便利になる背後圏の道路ネットワーク



●ふ頭再編による効率化



- コンテナターミナル機能の強化**
- ・北ふ頭への集約、大水深連続2バース体制による効率化
 - ・耐震強化岸壁による災害時の物流機能確保
- 完成自動車取扱機能の強化**
- ・完成自動車保管能力の増強
 - ・3バース体制による輸送効率の向上
- エネルギー関連等貨物取扱機能の強化**
- ・3バース体制による取扱能力の向上

●カーボンニュートラルポート等の実現

- カーボンニュートラルポートの実現に向けたキックオフとして、「四日市港カーボンニュートラル推進フォーラム」を開催（R4.5.22）
- カーボンニュートラルポートの形成を推進することを目的に、「四日市港カーボンニュートラルポート協議会」を設立し、第1回協議会を開催（R4.8.3）
- AIターミナル化も検討し、将来的には労働環境の改善と生産性向上を実現していく。



産官学が連携してカーボンニュートラルポート形成に向けた取組を推進！

四日市港霞ヶ浦地区北埠頭の整備を進める会について

四日市港に求める期待や要望を整備に反映させるため、四日市商工会議所と四日市港利用促進協議会が呼びかけ人となり、官民一体の「四日市港霞ヶ浦地区北埠頭の整備を進める会」を令和元年9月に設立しました。

会 員 名 簿

令和4年8月26日現在

役 職	企 業・団 体 名	職 名	氏 名
名誉会長	三重県	知事	一見 勝之
	四日市市	市長	森 智広
会 長	四日市商工会議所	会頭	種橋 潤治
副 会 長	四日市港利用促進協議会	会長	小川 謙
	本田技研工業株式会社	四輪事業本部 サプライチェーン購買統括部 サプライチェーン推進部長	岡田 浩治
	中部電力株式会社	再生可能エネルギーカンパニー 四日市バイオマス発電所長	淡川 威
	株式会社 J E R A	四日市火力発電所長 四日市 L N G センター所長	小林 裕也
	東ソー株式会社 四日市事業所	上席執行役員 事業所長	吉水 昭広
	コスモ石油株式会社 四日市製油所	所長	中島 元
	住友電装株式会社	代表取締役 執行役員社長	漆畑 憲一
	AGF 鈴鹿株式会社	代表取締役社長	田中 毅
	日本トランスシティ株式会社	代表取締役社長執行役員	安藤 仁
	名古屋四日市国際港湾 株式会社	代表取締役会長	水谷 一秀
	四日市港運協会	会長	小林 長久
	四日市港管理組合	副管理者	嶋田 宜浩
	全日本港湾労働組合 東海地方 四日市支部	執行委員長	木村 幸嗣